

竜野の自然と子どもたちの心を育てる「たつのホタル会」

# ホタルが舞う里の美しさを、未来へ



ホタルが乱舞し、生き物たちが棲（す）みやすい自然環境を残したい。地域の子どもたちに自然を体験してもらうことで、故郷（ふるさと）を大切に思う気持ちを持ってほしい、という願いで発足した「たつのホタル会」。子どもたちとホタルの飼育を通して、美しい自然を守り、未来へ引き継ぎたい。

## ●ホタルを通じて見せたい風景 子どもたちに引き継ぎたい郷土

「たつのホタル会」は、地域の子どもたちにホタルの飼育を通じて自然と生命の大切さを学んでもらうことと、ホタルをはじめとした生物の棲（す）みやすい環境づくりに取り組むことを目的に、今年4月に結成されました。

緑と自然が豊かでホタルが息できる郷土・竜野地域を、地元住民らでホタルが光る昔からのきれいな川と水辺として大切に守り、地域の子どもたちに引き継ぐ取り組みをしています。

## ●竜野が誇るホタルの里の美しさ 地域で守る自然と生命の大切さ

同会の会員は、（表紙左から）井藤光徳さん（上早川三区）、井藤直行さん（同区）、金森徹さん（同区）、佐藤龍美さん（同区）、渡邊洋一さん（同区）の5人。同会の皆さんが子どもの

ころは、「水田などにはたくさん生き物が棲み、竜野川にはたくさんホタルが乱舞し、水も澄んでいて遊ぶところに困らなかった」と言います。

しかし、近年進む少子高齢化などにより、地域によっては耕作放棄地が増加し、水辺の草木の手入れも行き届かず、景観の保全も困難となっています。子どもたちが遊べる自然も減っている今、地元で暮らす自分たちが大切にしてきた郷土の自然を守り、子どもたちにこの恵まれた環境を伝えようと同会を結成し立ち上がりました。

同会会長の金森さんは「自然を通して、竜野の素晴らしい環境を子どもたちに伝えること、きれいな川に息するホタルを守ること。この2つの活動を柱として、竜野の子どもたちの自然と生命を大切にすることを、郷土・竜野を思う心を育てたい」と、ホタルにつながる地域に対する思いを語りました。